

2007年 北京日本語会議 来場者の声

*本会議は全て日本語で行われ、中国語通訳を付けておりません。来場者の大半は北京市内の大学で日本語を勉強している中国の大学生でした。皆さんとても真剣に耳を傾けてくださり、アンケートにも日本語で答えてくれました。一部をご紹介します。

第一部「自国紹介&パネリストの主張」において印象に残ったスピーチ

◆エイイチの自国紹介が一番印象深かった。情熱あふれた声と美しい映像が私達にメキシコの知らなかった面を教えてくれて、本当に魅力的な国棚と感じた (21才 大学4年/女)

◆相原さんの言った「出会いは民族の壁を越えるカギとなる」という主張に共感を覚えた。私も日本語学科に入る前、日本にあまり関心を持っていなかったが、日本語や日本文化を勉強すればするほど日本人や、日本へも好感をもった。そして、日本人と付き合い合っ、もっと深く理解できる。(19才 大学3年/女)

◆韓国代表が「自国を遠くから(客観的に)見つめなおし、反省する」という言葉が印象に残りました。自分が中国を見ているように、中国の方が日本をどう見ているのか、世界からどう見られているのか、考えてゆきたい。(20才 大学2年/女)

◆文博のバベルの塔の話、その後の「言葉が民族の壁になっているけれども、言葉はまた民族をつなぐことが出来る」という話が大変印象に残っています。同じ言語を学んでいる身として、私ももっとがんばらなければと強く思いました。(20才 大学2年/女)

◆トルコは地理の本でしか知ることが出来ず、今日始めてトルコはこういう国なんだと感じ、トルコ文化を身に感じました。(20才 大学1年/男)

◆どの国の方も自分が思っていたより、知らないことが多くて、沢山のことを知れてうれしく思いました。また、皆さん本当にきれいな日本語を話すのでとても驚いた。(20才 大学2年/女)

◆「積極的に相手と話し合わなければ、何も始まらない」と言う日本の代表の主張が一番印象に残りました。(21才 大学3年/男)

第二部パネルディスカッションにおいて印象に残った意見

◆文博さんの理解するのは壁を越えるため一番よい方法だと言う意見が印象に残った。(21才 大学3年/男)

◆相原さんの言った「人と人とのコミュニケーションが大事だ」。恨みだけでは何もなりません。相手を理解しようとする気持ちを持って話し合わなければならぬと思う。(20才 大学3年/女)

◆相原さんの、謝る気持ちがあれば、中日関係を改善することが出来る。だが、中国にとって、未来のために、以前の日本に対する態度が変わればよかった。と言う意見が一番印象に残った。(21才 大学3年/男)

◆文博さんの「交流を文化・言語にだけ留めておくのではなく、今までの一種タブーとしていた歴史問題や政治問題にまで発展させ、意見を交流させる必要がある」と言う意見に深く同感。その中で新たな考えが生まれるかもしれない、その新たな一步を踏み出す勇気を、これからの時代を担う私たちが持つべきだと思いました。(20才 大学2年/女)

◆古谷さんの、日中両国の人たちはまず、一步を踏み出す勇気が必要だ。まったく同感です。中国人として、実際、本当に日本を理解出来ていないのは事実だと思う。私は日本を勉強して、日本人と交流しながら、だんだん日本が好きになってくる気がしま

す。(22才 大学院1年/女)

◆理解のためにはまず、コミュニケーションが不可欠。マリーナさんのウズベク語を学んでいる姿勢はすばらしいと思う。周りのロシア系の方も、もちろん他の民族の方も、お互いの言語を勉強して、理解を深めて欲しいと思います。ハビエルさんの共通の目的を持つことなど印象に残った。(20才 大学2年/女)

「北京日本語会議」の感想

◆色々な感想を持つ若者を見て、感動した。若者の声で人々の平和の意識を呼び起こすこと、民族の壁を越えることを信じます。(22才 大学4年/女)

◆感動しました。日中友好のためにも、もっと日本語の勉強に精一杯がんばります。(21才 大学3年/男)

◆お互いに理解することが出来れば、どんな壁も越えられると思います。そして、これからもこんな活動に参加したいと思います。(20才 大学4年/女)

◆各国の代表がそれぞれ自分の考える「平和～民族の壁を越えて」を述べてられて良かったと思う。平和のことについて、もう一度考えさせられました。やはり、一人一人が平和を願う心を持たないといけないと思います。その一歩は、自ら踏み出さないと何も始まらないと思います。(20才 大学2年/女)

◆すばらしい会議です。各国からの若者が交流できる舞台を作っていただいて有難うございました。(20才 大学3年/女)

◆沢山の意見を聞いて各国の文化を言葉であらわしました。違いがあっても、勇気を出し直面することは大切だと思います。(19才 大学3年/女)

◆平和は人類共通の話題、目標です。今、世界はまだ不安定です。人々は全員平和の心を持っていれば、世界は、きっと平和になると思います。(18才 大

◆吉沼さんの、歴史問題に関しては、ただ教科書の中に定められた内容を勉強するだけではなく、自分で実際に触れたことを体験して、友情が生まれると言う意見が印象に残った。(22才 大学4年/女)

◆コーディネーターの池上さんの「一歩踏み出す勇気が一番大事です」と言う話に同感した。(20才 大学3年/女)

学1年/男)

◆各国の文化を知ることが出来て、とても良い会議だと思います。これからも、もっとこうした様々な会議または交流が多くなればよいと思います。(20才 大学1年/男)

◆この会議に参加できて良かった。各国からの若者の考えを聞いて、すごく感心した。民族の問題、中日の問題が考えさせられた。それから相原さんの「違いを楽しむ」と言う言葉に心を打たれた。(19才 大学3年/女)

◆平和は世界の人々の共通の願いです。だから、人間として平和のために、小さなことからでも貢献してゆかなければならないことだと思います。(20才 大学3年/女)

◆今回の会議を通して、良い勉強になりました。初めて、日本語で世界の人々の話を聞き、民族に壁を越えるというテーマで一緒に議論することは、お互いの友情を深めることが出来ると思います。ただ中日関係だけでなく、世界各民族が存在している問題などに関心を持つようになりました。(22才 大学4年/女)